

秋篠宮発言は天皇の現人神祭祀「大嘗祭」は、強行するぞという決意表明

辻子 実



2018年11月30日秋篠宮が誕生日の記者会見で「大嘗祭はある意味宗教色が強いものになる。国費でまかなうことが適当かどうか。私は平成の大嘗祭の時にもそうすべきではない」という立場だった。今回も結局その時を踏襲することになったが、すっきりしない感じは今でも持っている。宗教行事と憲法との関係はどうかという時、やはり内廷会計で行なうべきだ。大嘗祭自体は相当な費用がかかるが、絶対にすべきもの。ただ、できる範囲で身の丈に合った儀式にするのが本来の姿ではないか。」という趣旨の発言をしたことで、マスコミをにぎわしたことは記憶に新しいと思います。

この発言に対して宮内庁は、神前に供える食事を盛り付ける「膳屋」と呼ばれる建物をプレハブ化するというような姑息な対応策を打ち出しています。

これら即位の礼・大嘗祭に関する一連の動きを「市民の意見」的に読み解くと。

「大嘗祭はある意味宗教色が強い」と発言していますが、強いものにも、「祭」という名称

が端的に示すように、大嘗祭は、皇室神道祭祀そのものなのです。

大嘗祭は宮内庁HPによりますと、「天皇陛下が即位の後、嘗宮の悠紀殿及び主基殿において初めて新穀を皇祖及び天神地祇に供えられ、自らも召し上がり、国家・国民のためにその安寧と五穀豊穡などを感謝し、祈念される『大嘗宮の儀』を中心とした諸儀式である。」と説明されています。

「大嘗宮の儀」は、秘儀とされ詳細は明らかにされていませんが、中心儀式は、宮内庁の解説ですら神人供食儀式であることが読み取れます。

民俗学者の折口信夫は、「上代葬儀の精神」という文章の中で、「大嘗宮にお衾すすまが設けられ、鏡やお召し物、靴があるのは、先帝およびご祖先の亡骸がそこにあると考えられているからである。死という觀念のない昔は、新帝はお衾に入られたに違いはない。いまはどうか分からぬが、昔はお衾に入られて、鎮魂の歌、諸国の国ぶりの歌をお聞きになつてゐる間に、天皇の魂がつく。廻立殿のお湯をお召しにな

ると昔のことが流されて、生まれ変わったと同じことになる。」という、いわゆる「真床まどこお衾すすま」論を展開していますが、大嘗祭は、天皇が現人神になる祭儀です。

大嘗祭には、諸祭儀が伴います。

主な神道祭祀だけでも、斎田点定の儀（占いによって斎田の場所を定める祭儀）・大嘗宮地鎮祭（大嘗宮を建てる土地の神を祀る祭祀）・斎田抜穂の儀（斎田から稲穂を抜き取る祭儀）・大嘗祭前一日鎮魂の儀（大嘗宮の儀の前日に執行される、天皇、皇太子、皇太子妃について、彼らに対する鎮魂をする祭祀）・大嘗宮の儀・大饗の儀（大嘗宮の儀などに参列した人々が、新穀から作られた酒や料理を、天皇とともに飲食する儀礼）があります。

象徴的な儀式は「抜き穂の儀」です。

「大嘗宮の儀」に使われる新穀栽培地は、ウミガメの甲羅を焼いて、そのひび割れを見て選定されます。「亀卜きびく」という占いです。

占いで選定された田んぼでの田植え・稲刈りは、しめ縄を張り巡らせた竹矢来の田で、儀式の度ごとに神職のお祓いを受け、完全に



1900年「大嘗宮の儀」に参列 (AbemaTIMES)

神道儀式に則り進められます。

さらに悠紀斎田・主基斎田跡地は、これまた聖地として後世に伝えられるのです。



主基斎田100周年記念式典に参加（四国新聞）

跡地には、記念石碑が建立されたり公園にされたり、日本酒がつくられ、大嘗祭斎田選定を記念して「お田植祭り」などと称して全国各地で、大嘗祭が語り継がれているのです。そして、秋篠宮夫妻は「主基斎田100周年記念式典」に、しっかりと出席しているのです。

1990年の即位・大嘗祭違憲訴訟に対して、1995年の大阪高裁判決は、原告側の主張を退けたものの「憲法違反の疑いは一概に否定できない。」と判決文に明記しています。秋篠宮は記者会見で、敢えて費用が掛かりすぎると発言することによって、論点をぼかしています。大嘗祭はどうであれ、行なうのである宣言をしているのです。

儀式の舞台となる「大嘗宮」は大嘗祭のためだけに新設され、儀式後は聖なる物として、直ちに撤去・解体されるのですが、1990

年の時の建築費は直接費用だけで、約14億5千万円掛かったと言われています。ゼ口を付けると巨額のイメージがわくと思いますが、14500000000円です。宝くじを一回当てたくらいでは賄えない費用です。

東日本大震災における仮設住宅建設・解体費用は、寒さ対策などで膨らんだと言われながらも、1戸800万円といわれています。800000000円。14億5千万円は、180戸も建設できる額なのです。

秋篠宮は、表現のうまさというか「大嘗祭自体は相当な費用」と、巨額とは言っていない。

なおかつ「内廷会計」という言葉を使っています。

宮内庁の経理する税金には、宮廷費・皇族費・内廷費があります。秋篠宮発言の「内廷費」とは、皇室経済法に基づき天皇及び内廷にある皇族の日常の費用その他、とされるものです。しかし、いずれの原資も税金にかわりはありません。

多額の税金が使われるとは言わず、「内廷会計で行なうべき」という表現も実に論点をぼかした上手い表現と言えます。

結果として、大嘗祭に多額の税金支出を伴っても、だから私（秋篠宮）は言っていたではないかと、批判は政府に向かい皇室は安泰という、天皇の退位発表と同様、天皇・皇族による世論誘導です。

秋篠宮夫妻は、神社本庁創立70周年式典

（2016年）に出席しています。

秋篠宮の妹、黒田清子は、神社本庁が「本宗」という伊勢神宮の最高位神職である祭主です。

伊勢神宮は、その宗教法人で、祭主は「勅旨を奉じて定める」こととしています。

現皇后の結婚に際して、最大の障害と言われたのが、美智子がカトリックの洗礼を受けているか否かでした。政教分離に関連して皇室なるものにも信教の自由があるかという愚問が言われることがあります。伝統的に仏教徒であった天皇が「現人神」と再構成された明治以降の皇室神道の枠を秋篠宮は、堅持しているのです。

秋篠宮は、天皇の現人神祭祀「大嘗祭」は強行するぞという皇室神道確信犯なのです。表現をぼかして、発信している怖さです。

今年、あらゆる所で、皇室祭祀・国家神道の祭祀（行事）が至る所でおこなわれることになると思います。

私たちは、見張り人として意味も含めて、12月10日東京地裁



FNSより

に「即位大嘗祭違憲訴訟」を提訴しました。

提訴の時の司法記者クラブの会見では、「秋篠宮発言に触発されて提訴されたのですか。」という趣旨の質問もありましたが、勘違いも甚だしい質問で、私たちは即位大嘗祭が、国費であれ、内廷費であれ膨大な税金が使われることに異議を申し立てているのです。

(ずし・みのる／即位・大嘗祭違憲訴訟呼びかけ人)

●即位の礼・大嘗祭等違憲差止請求事件

被告は、即位の礼及び大嘗祭関係諸儀式のために国費を支出してはならない

原告：日本国の主権者でありまたは納税者

被告：国（諸儀式を行なう主体）

●即大訴訟に関する問い合わせ：〒202-10022

東京都西東京市柳沢 2-11-13 即位・大嘗祭違憲

訴訟の会

e-mail: sokudai@mail.zhizhinet

h.d.: http://sokudai.zhizhinet

●提訴は行ないましたが、第2次原告の募集も2月末締め切りで募集中です。訴状はHPからダウンロードできます。

●原告になつていただける方は、訴訟費用として、年間会費として3000円（1口）をご入金下さい。（支援会員も会費同額で募集します）

*郵便振替口座 00120031293255
即位・大嘗祭違憲訴訟の会

憲法解釈は朕のもの！

〈天皇教〉と〈祝祭ナシヨナリズム〉

「生前退位」問答⑦

天野 恵一



——安倍（晋三）首相が1月4日に三重県の伊勢神宮に参拝した後に記者会見して、新天皇即位に伴う新元号を4月1日に閣議決定・公表するという方針を表明しましたね。天野さんは首相の伊勢参拝も批判するんでしょうね。

天野 もちろんです。伊勢神宮の祭神は「皇祖神」とされる「天照大神」でしょう。首相が公然と参拝し、記者会見までやっている。こんな神権天皇主義者ぶりのデモンストレーションが許されていいわけない。

——でも、安倍だけじゃないし、首相の正月の慣行みたいになっているし、一貫して、靖国「公式」参拝の時のような批判や疑問の声もないし、マスコミにも出ないでしょう。

天野 その事、それ自体が問題なんですよ。

——ハイ、そこまで。それでは次に行きますね。なにせ、「代替り」のスケジュールが、決定される段階になつてきていて、論じなければいけない問題が山ほどあるんでしょうから。昨年10月12日に、「代替り」の式典を円滑に進めるための「皇位継承式典委員会」（安倍が委員長）の設置が閣議決定されて初会合、新天皇「即位」を内外に示す「即位礼正殿の儀」が行なわれる10月22日を来年に限り、「祝日」にする意向が表明されましたね。

天野 ハイ、ハイ（笑）。この会合で、秋篠宮の「立皇嗣の礼」を2020年4月19日に行なうという方針も決められましたね。

——「りこうし」？

天野 次の次に天皇になるポストのことですよ。天皇の兄が「皇太子」ってわけにはいかない。「東京オリンピック」の年にまで連続する国家的「祝祭」が政治的に演出されていくわけですね。ニッポンはスバラしい、ガンバレ、勝利せよという〈祝祭ナシヨナリズム〉ですよ。安倍政権としては、できればこの流れの中で憲法を変えてしまおうということでしょう。ねらいは巧妙、でもスケジュール的には無茶。

——〈祝祭ナシヨナリズム〉、なるほどネエー。とすると、5月1日、「即位」の儀式がスタートして「改元」のこの日を「祝日」にすることで「10連休」という方針も、「祝賀ナシヨナリズム」のための政治演出というわけか。天野 そうです。なにせ「生前退位」ですから「退位」から「即位」までを、ほぼ国家的祝祭一色にそめあげることが可能。とりあえず天皇の「死」は「祝祭」ってわけにはいかないけど、それがないわけだから。10連休は、休みが保障されている人にとってはそれなりにラッキーという気分でしょう。5月1日のメー